

水田初期除草剤

アークエース[®]

ブタクロール・ACN(モゲトン[®])

混合剤

粒剤



アーケース[®]及びモゲトン[®]はアグロ カネショウ(株)の登録商標



その効き目が、決め手になる。

3つのA(エース)で **AA** 水田の雑草を一掃。

1

Ace
★★切り札★★

確実で安定した除草効果

2つの有効成分が相加・相乗的に作用し、初期除草剤としてより安定した効果を発揮します。

ブタクロール
マーシエット[®]
の有効成分

ACN
モゲトン[®]
の有効成分

2

Azena
★★アゼナ★★

SU(スルホニルウレア)剤
抵抗性草種に有効

近年問題となっているアゼナ類、ミヅハコベ、イヌホタルイ、ミズアオイなどの頑固な雑草にも高い効果があります。

3

Algae
★★藻類★★

藻類・表層はく離に卓効

本剤はACN(モゲトン)を含有しているため藻類・表層はく離に高い効果があり、水面が澄んできれいになります。また、拡散剤の前処理剤としても有効です。

マーシエット[®]は日産化学工業(株)の登録商標



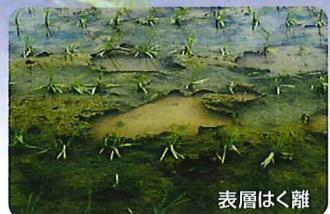
アメリカアゼナ



イヌホタルイ



アオミドロ



表層はく離



アグロ カネショウ株式会社

東京都港区赤坂4-2-19

成分:ブタクロール……2.5% ACN……4.5% 毒性:普通物(毒劇物に該当しないものを指す通称)

適用雑草と使用方法

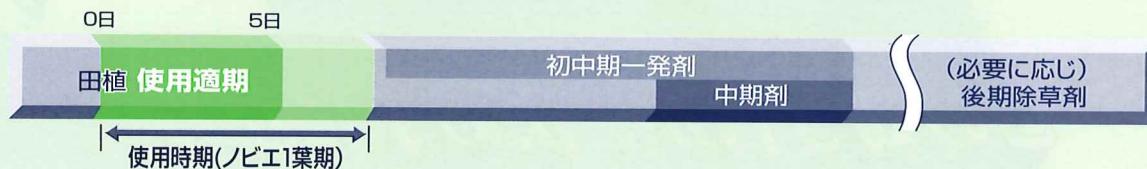
作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ブタクロールを含む農薬の総使用回数	ACNを含む農薬の総使用回数		
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	2~3kg/10a	1回	田植同時散布機で施用	2回以内	3回以内		
		移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで	3kg/10a		湛水散布				
		移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで	2kg/10a						

平成27年11月11日現在

上手な使い方

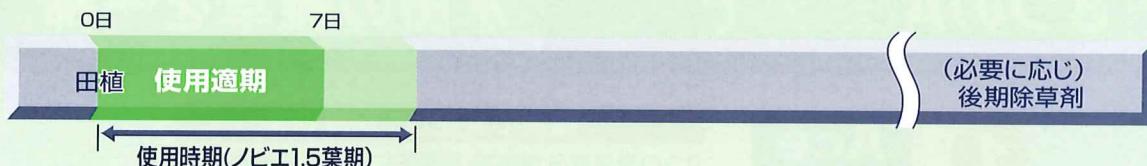
雑草がだらだら発生する地域

田植直後のアオミドロ・表層はく離の発生を防ぎ、水温・地温の上昇を助け、初期の雑草の発生を抑えます。
アオミドロ・表層はく離等の発生を抑えて初中期一発剤の拡散を助けます。



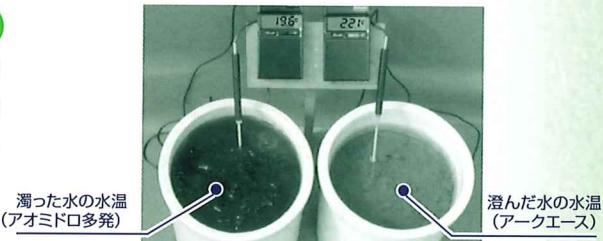
雑草がそろって発生する地域

西南暖地のように雑草が同時期にそろって発生する地域で強害雑草が少ない場合、適期(田植～ノビエ1.5葉期までの散布)の1回使用で、十分な除草効果が期待できます。



水温の上昇を助けるアーケースのプラス効果

水稻の活着～分かつ期はできるだけ高い水温を維持することが、収量確保の重要なポイントとなっています。アーケースはアオミドロ・表層はく離などにも高い防除効果を発揮するので、水面が澄んで、稻の順調な生育に必要な水温上昇につながる効果があります。



※アーケースを処理することにより、フロアブル剤やジャンボ剤などの水面(水中)展開の拡散を助け、効果が安定します。

⚠ 効果・薬害等の注意

- 本剤は雑草の発生前から発生初期に有効なので、ノビエの1.5葉期までに、時期を失ないように散布してください。
なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれがるので、必ず適期に散布してください。
ホタルイ、ヘラオモダカ及びアオミドロ・藻類による表層はく離は発生始期までが本剤の散布適期です。
- 苗の植付けが均一になるように、整地、代かきはていねいに行い、ワラくずなどの浮遊物はできるだけ取り除いてください。また、未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行ってください。
- 散布に当っては、水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも4日間は通常の湛水状態(3~5cm)を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合には、除草効果が低下することがあるので使用をさせてください。
- 下記①～③の条件で薬害が発生する恐れがあるので使用をさせてください。特に下記①～③の条件と散布時または散布日数以内の梅雨明けなどによる異常高温が重なると初期生育の抑制が顕著になるので注意してください。
①極端な砂質土壤の水田及び漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)。
②軟弱な苗を移植した水田。
③極端な浅植えの水田及び浮き苗の多い水田。
- 活着遅延を生じるような異常低温が予測されるときは、初期生育の抑制などが生じるおそれがあるので、このような条件下での使用に際しては、県の防除指針に基づき関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 水稻が水没するような極端な深水で使用すると薬害を生じることがあるのでさせてください。

- 本剤散布後の田面水を他の作物へ灌水しないでください。
- 本剤使用後の空袋は環境に影響を与えないように適切に処理してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤食などのないように注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてから衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体质の人は取扱いに十分注意してください。

魚毒性等…水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚場及び養殖池等周辺での使用はさせてください。水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。散布後は水管管理に注意してください。

散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保 管…密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない、冷涼・乾燥した場所に保管してください。

TS16D17(Nアーケ)

●ラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。